普及活動情勢報告

普及活動情勢報告（平成 27 年 4 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

浅水代かき実践会

浅水代かき実演の様子

4 月 5 日、南国市浜改田で第 4 回 JA 南国市浅水代かき実践会が開催され、稲作農家や関係機関ら 25 名が参加しました。

昨年までは水田ハローを用いた実演でしたが、今年はより多くの稲作農家の参考となるよう、ロータリーを用いて実演を行いました。農業改良普及課は県外の浅水代かき先進事例の紹介や、ロータリーで浅水代かきをする際の注意点を指導しました。

実演を担当した農家に参加者から、ロータリーの回転数や代かき時の水量等について質問があるなど、活発な意見交換ができました。

農業改良普及課は、今後も浅水代かきの指導・啓発を通して農業濁水防止対策に取り組んでいきます。

ニラ現地検討会を開催

現地で生育状況を確認する生産者

4 月 6 日、JA 土佐香美ニラ部会の現地検討会が香南市野市町で開催され、香北地区の生産者 22 名が参加しました。

現地ほ場では参加者が、有望品種の「タフガイ」について、葉色や葉幅など対照品種との違いや生育状況を確認し、意見交換をしました。その後の研修会では、農業改良普及課から有望品種の収量や鮮度保持調査及び経営実態調査の結果などについて情報提供しました。

今後も増収技術の確立や安定生産に向けて支援していきます。

香南市夜須町出口集落の今後を考えよう（集落座談会）

リーダーによる話し合いの様子

4 月 4 日、香南市出口集落座談会が開催され、集落のリーダー9 名が参加しました。農業改良普及課は、集落ビジョン作成の基礎資料となる農地利用現況図の作成について、事例を交えながら提案しました。

参加者からは「次期中山間地域等直接支払制度に取り組む場合には、確実に維持管理できる農地に限定する」「検討のためには地図の作成が必要」など、前向きな声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も集落の栽培品目や耕作者情報などをもとに、出口集落の方向性を示すビジョンづくりを支援していきます。

物部ユズ座談会（JA と生産者の情報及び意見交換会）

JA 物部支所で説明を聞くユズ生産者

3 月 25～27 日、JA 土佐香美ユズ生産部は、部会活動の活性化を目的とした座談会を 5 地区で開催し、生産者 93 名が参加しました。

農業改良普及課からは、農薬の適正使用や家庭選別の向上などについて助言しました。

参加者からは、「適正管理で青果率向上に取り組む」、「家庭選別の向上に努める」などの意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も日本一のユズ産地を守るため、講習会などで生産者の技術力向上に取り組みます。

露地オクラ現地検討会

換気管理を検討

JA 土佐香香美オクラ部会では、4 月 7 日～15 日にかけて地区別の露地オクラ現地検討会を開催し、合計 49 名が参加しました。

農業改良普及課からは、今後発生が予想される病害虫の防除体系について説明しました。また、生育に合わせた換気管理等について意見交換を行いました。参加者は、生育ステージが同様の圃場と比較することで、自分の換気管理が適しているかを確認することができました。

今後も定期的に現地検討会を開催し、オクラの安定生産に向けて支援していきます。